

Title	著訳者紹介
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所紀要, No.25, 2003.1 : 3-7
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/reps/modules/xoonips/detail.php?item_id=4117
Rights	



聖学院学術情報発信システム : SERVE

SEigakuin Repository and academic archiVE

[著 訳 者 紹 介]

(掲載順)

飯坂 良明 いいさか・よしあき

1926年富山県生まれ。東京大学法学部政治学科卒。東京大学大学院政治学研究科特別研究生修了。学習院大学教授を経て、現在、聖学院大学学長、同大学院教授、大学院長。学習院大学名誉教授。

〔著書〕『権力への抵抗』(グローリア出版・1959), 『現代社会をみる眼』(日本放送出版協会・1968), 『現代政治学』(同・1968), 『キリスト者の政治的責任』(新教出版社・1970), 『宗教と現代』(玉川大学出版部・1981), 『未来への軌跡』(四谷ラウンド・1995), 『新約聖書に学ぶ』(世界思想社・1996) など。

〔訳書〕ハチスン『キリスト教と政治』(教文館・1961), ラスキ『近代国家における自由』(岩波文庫・1974), フロム『ユダヤ教の人間観』(河出書房新社・1980), ローチ『表現の自由を脅かすもの』(角川書店・1996) など。

内田 弘 うちだ・ひろし

1939年群馬県生まれ。1962年横浜国立大学経済学部卒。経済学博士。現在、専修大学経済学部教授。

〔著書〕『経済学批判要綱の研究』(新評論・1982), 『中期マルクスの経済学批判』(有斐閣・1985), *Marx's Grundrisse and Hegel's Logic*, Routledge 1988, 『自由時間』(有斐閣・1993), 『三木清』(編著・こぶし書房・2000) など。

田中 豊治 たなか・とよじ

1926年生まれ。東京大学経済学部卒。同大学院社会科学研究所(経済史学専攻課程)博士課程修了。経済学博士(東京大学)。法政大学教授、千葉大学教授、大東文化大学教授を歴任。現在、聖学院大学総合研究所客員教授。千葉大学名誉教授、大東文化大学名誉教授。

〔著書〕『イギリス絶対王政期の産業構造』, 『ウェーバー都市論の射程』, 『近代世界の変容』(共編著) など。

〔訳書〕S・N・アイゼンシュタット『文明社会の比較社会学』(共訳)

有賀 貞 あるが・ただし

1931年東京生まれ。東京大学教養学部卒。同社会科学部研究科修士課程修了。一橋大学教授（現在は名誉教授）、獨協大学教授等を経て、2001年より聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究所教授。

〔著書〕『アメリカ政治史』、『アメリカ史概論』、『アメリカ革命』、『アメリカ史Ⅰ、Ⅱ』（編著）、『アメリカ外交と人権』、『エスニック状況の現在』など。

大木 雅夫 おおき・まさお

東京大学大学院社会科学部研究科基礎法学専門課程博士課程修了。法学博士（東京大学）。上智大学名誉教授、日本学術会議第2部長。聖学院大学大学院政治政策学研究所長・教授。

〔著書〕『日本人の法観念』、『比較法講義』、『資本主義法と社会主義法』、『異文化の法律家』など。

相澤 一 あいざわ・はじめ

1967年生まれ。国際基督教大学教養学部卒。東京神学大学大学院修士課程修了。ニューヨーク・ユニオン神学校S. T. M. コース修了。関東学院中学・高等学校聖書科教諭を経て、現在、聖学院大学特任講師。

〔論文〕「パウロ・ティリッヒの『宗教史の神学』——その諸相と変遷」（東京神学大学神学会『神学』56号・1994年）、「ティリッヒ神学における人格神の概念」（組織神学研究所編『パウロ・ティリッヒ研究』（聖学院大学出版会・1999年）

〔訳書〕パウロ・ティリッヒ『宗教の未来』（共訳・聖学院大学出版会・1999年）

大澤 麦 おおさわ・むぎ

1963年生まれ。慶応義塾大学法学部政治学科卒。明治学院大学大学院法学研究科博士課程後期課程修了。法学博士。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔著書〕『自然権としてのプロパティ——イングランド革命における急進主義政治思想の展開』（成文堂・1995年）、『イギリス・デモクラシーの擁護者A・D・リンゼイ——その人と思想』（共著・聖学院大学出版会・1998年）。

〔訳書〕『デモクラシーにおける討論の生誕——ピューリタン革命におけるパトニー討論』（共訳・聖学院大学出版会・1999年）

川添 美央子 かわぞえ・みおこ

1970年生まれ。聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科専任講師。政治思想史専攻。
〔論文〕「自由意志論争におけるホッブズの二つの視座」『法学政治学論及』第40号(1999年春
季号)、「政治思想における自由意志の問題」『法学政治学論及』第45号(2000年夏季号)、「ホ
ッブズの唯名論に関する予備的考察」『法学研究』(慶應義塾大学)74巻第10号(2001年)。

野呂 有子 のろ・ゆうこ

1951年生まれ。1975年東京教育大学(現・筑波大学)文学部文学科英語学英文学専攻卒。1977
年同大学大学院文学研究科修士課程修了。東京成徳大学教授を経て、現在、日本大学文理学部
教授。

〔主要著書〕『C・S・ルイス〈ナルニア国年代記〉読本』(共著・国研出版・1988年)、『イギリ
ス革命におけるミルトンとバニヤン』(共著・御茶の水書房・1991年)、『ミルトンとその光芒』
(共著・金星堂・1992年)、『十七世紀と英国文化』(共著・金星堂・1995年)、『神, 男, そして
女——ミルトンの「失楽園」を読む』(共著・英宝社・1997年)、『西洋の日本発見——OEDに
見られる日本語——』第一集～七集(共著・東京成徳英語研究会・1995～1998年)ほか。

〔主要訳書〕ウォルター・フーパー『C・S・ルイス文学案内事典』(共訳・彩流社・1988年),
ニール・フォーサイス『古代悪魔学——サタンと闘争神話』(監訳・法政大学出版局・2001年),
ジョン・ロック『パウロ書簡注解』(共訳・『聖学院大学総合研究所紀要』・1998年～)、『イン
グランド国民のための第一弁護論・第二弁護論』(新井明氏との共訳・聖学院大学出版会より
出版予定)ほか。

濱田 辰雄 はまだ・たつお

1947年山口県徳山市生まれ。國學院大學文学部日本史学科卒。日本聖書神学校卒。東京神学
大学大学院修士課程修了。現在、日本基督教団緑聖教会牧師。聖学院大学総合研究所客員教
授・日本研究室室長。聖学院大学宗教センター幹事, 非常勤講師。聖学院みどり幼稚園宗教主
任。國學院大學兼任講師。

〔著書〕『光の道しるべ——村上由喜子の信仰と生涯』(ヨルダン社)、『神道学者 折口信夫と
キリスト教』(聖学院大学出版会)、『説教集 蝶と空』(日本伝道出版), 聖学院大学宗教セン
ター編『神を仰ぎ, 人に仕う——キリスト教概論』(共著・聖学院大学出版会), 学校伝道会編
『教育の神学』(ヨルダン社)。

森田 美千代 もりた・みちよ

1946年生まれ。国際基督教大学大学院修士課程教育研究科修了（教育学修士）。ドルー大学神学部 Master of Theological Studies 修了（神学修士）。ドルー大学大学院博士課程アメリカの宗教と文化専攻修了（哲学博士）。現在、聖学院大学総合研究所助教授。

〔論文〕“Horace Bushnell on Women in Family, Church, and Nation in Nineteenth Century Christian America.” Ann Arbor: University Microfilms International, 1999. ほか。

高 萬松 こう・まんそん

1953年生まれ。慶北大学校卒。東京神学大学大学院神学研究科博士前期課程修了。現在、聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程。

〔訳書〕フォーサイス『バルンキドワ ク ヨルメ』（大韓基督教出版社、ソウル・1999）（*The Soul of Prayer*の韓国語翻訳）。

〔論文〕「P・T・フォーサイスにおけるインディペンデンシーの影響」（『聖学院大学総合研究所紀要』22号，2001）。

赤坂 恒明 あかさか・つねあき

1968年生。早稲田大学第一文学部卒。早稲田大学文学研究科博士後期課程退学。博士（文学）（早稲田大学）。現在、聖学院大学・早稲田大学・千葉大学・東海大学非常勤講師。

〔論文〕「『五族譜』モンゴル分支と『集史』諸写本」（『アジア・アフリカ言語文化研究』55号，1998），「十四世紀中葉～十六世紀初めにおけるウズベク——イスラーム化後のジュチ・ウルスの総称——」（『史学雑誌』第109編第3号，2000）など。

久保島理恵 くぼしま・りえ

1969年生まれ。早稲田大学政治経済学部卒。東京神学大学大学院修了後、四国、南国教会牧師を勤めた。現在、聖学院大学非常勤講師。聖学院大学大学院アメリカ・ヨーロッパ文化学研究科博士後期課程在籍。

内田 雅幸 うちだ・まさゆき

2001年3月、聖学院大学大学院政治政策学研究所修士課程修了。上尾市教育委員会生涯学習課勤務。

ディーン・W・サザデン Dean W. Sotherden

1960年生まれ。1982年オハイオ大学卒。テンプル大学にてM. Ed.取得。現在、聖学院大学総合研究所専任講師。

〔論文〕A Literature Review of Motivation and Second Language Acquisition, Unraveling the Mystery of Motivation in EFL Education, An Introduction to Some Important Writings Relevant to EFL and ESL Education, The Role Of Discourse Analysis In EFL Education, Economic Influences in Relation to the Language of the Amish, A Commentary On Contemporary American Society and the Amish, The Amish Commitment To Pacifism. The Japanese Identity Crisis: Friend Or Foe Of English Language Teachers? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.21, 2001), Is Learning English Truly Advantageous For the Japanese? (Bulletin of Seigakuin University General Research Institute, No.22, 2001)

平 修久 たいら・のぶひさ

1955年生まれ。コーネル大学博士課程修了。Ph. D. (都市及び地域計画学)。富士総合研究所を経て、現在、聖学院大学政治経済学部コミュニティ政策学科教授。聖学院大学大学院政治政策学研究所教授。

〔著書〕『世界都市の成長と基盤整備 ニューヨーク・ロンドン・パリ』(共著), 『東京はこう変わる』(共著), 『成熟都市東京のゆくえ』(共著)。

〔論文〕「首都機能移転の経済的費用便益分析」(『応用地域学研究』第3号), 「アメリカのリンケージ施策の分類に関する一考察」(『都市住宅学』第23号)ほか。

エバート・D・オズバーン Evert D. Osburn

Multomah School of the Bibleなどで学び、1988年、Oregon Western Seminaryで、Exegetical TheologyのM. A.を取得。同年、The Independent Fundamental Churches of Americaで助手を受け、日本キリスト教団西荒川教会に宣教師として赴任。現在、同教会牧師。1992年、聖学院大学総合研究所所員になり、現在、聖学院大学総合研究所助教授。聖学院英語教育プログラム主事。